

照明セミナー

2017

LIGHTING SEMINAR 2017



第一線で活躍中の「照明デザイナー」と「メーカー技術者」を迎えて

2017
10/5 (木) 14:00~16:30
(受付13:30~)

■会場：金沢市アートホール（ポルテ金沢6F）

金沢市本町2丁目15番1号

■定員：先着200名

■参加費：無料

照明学会
CPDポイント
申請対象



講演1 14:00~14:50

新たなスポーツ照明環境の計画と評価方法

～横浜スタジアムのLED改修～

講師

杉山 健也

岩崎電気株式会社
北陸営業所 技術担当

近年のプロジェクト

- 横浜スタジアム照明設備（平成27年 第34回 日本照明賞受賞）
- スポーツ、道路、トンネル、公園、工場、等の照明設備の企画及び設計

スポーツ照明は、白熱電球にはじまり、水銀ランプ、高圧ナトリウムランプ、メタルハライドランプと時代の流れとともに進化を続け、LEDの登場により大きく変わろうとしています。プロ野球の屋外ナイター照明設備が全面的にHIDからLED化されたのは、今回紹介する「横浜スタジアム」が日本で初めての施設です。施設の改修ではありながら、照明器具の光学特性、照明計画の方法、そして施工後の光環境の評価に至るまで、一からすべてを見直し、LED投光器への改修を実施した内容について、お話しさせていただきます。

講演2 15:00~16:30

普遍的な光の作法／感じる光をつくる

講師

森 秀人

照明デザイナー
株式会社ライティングM代表

近年のプロジェクト

- ロームシアター京都（2016 照明デザイン賞「優秀賞」受賞）
- 東広島芸術文化ホール くらら（2017 照明デザイン賞 入賞）
- YKK AP R&Dセンター（平成28年 照明普及賞 受賞）

LEDの目覚ましい技術進歩により、従来の光源を大きく凌ぐ省エネ・高機能、そして建築との一体化が可能となり、建築の魅力を引き立たせる照明の可能性は、無限の広がりを感じさせます。一方、これからの光を考えると、照明デザインの原点を意識することも大切です。「ただ明るいだけではなく陰影を感じる光をつくること」が普遍的な光の作法であると、私は考えます。建築家との密なコラボレーションによって、感じる光をデザインした事例を通して、未来の光を導くヒントをご提供できれば幸いです。



主催 一般社団法人 照明学会北陸支部

●お問い合わせ 照明学会北陸支部事務局 魚住（北陸電力㈱ エネルギー営業部内）TEL：076-405-3640（直通）FAX：076-405-0124

参加ご希望の方はウラ面のFAX用紙、またはメールにてお申込み下さい

照明セミナー2017 参加申込書

FAXでお申し込みの方

必要事項をご記入の上、9月29日（金）までにFAXでお申し込み下さい

FAX送信先 ➤ **076-405-0124**

会社名		部署	
住所		TEL	
氏名	ふりがな	※いずれかを○でお囲み下さい 会員 ・ 非会員	

ご同伴者(複数の場合は、全員のお名前をご記入下さい)		※いずれかを○でお囲み下さい
氏名		会員 ・ 非会員

メールでお申し込みの方

参加ご希望の方の住所・氏名・電話番号・ご同伴者の方の氏名をご記入の上、
9月29日（金）までに下記メールアドレスまでお申し込み下さい

メール送信先 ➤

uozumi.masayuki@rikuden.co.jp

問い合わせ先 ➤

北陸電力(株)エネルギー営業部エネルギーソリューションチーム
担当: 魚住 (うおずみ) TEL: 076-405-3640 (直通)